

三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル	採択コース
バスケットボールや文化交流から得る多様性に関する理解	Aコース

学生情報	
氏名	徳弘真人
所属学部・研究科	教育学部
学年(出発時)	2年

渡航先情報	
渡航先	アメリカ合衆国ニューヨーク州
渡航先滞在期間	2024年2月18日 ～ 2024年3月3日
訪問先機関等	コロンビア大学、フォーダム大学
訪問先機関での身分	見学者

渡航概要と内容
渡航概要 コロンビア大学とフォーダム大学に訪問し、学生との交流から学びを得る。 ストリートコートで実際に現地の人とバスケットボールを通してコミュニケーションを図る。 メトロポリタン美術館やアメリカ自然史博物館や自由の女神を訪れ、アメリカ合衆国の歴史や文化に触れることでアメリカ合衆国に対する理解を深める。 内容 コロンビア大学では、三日間にわたって、歩いていた学生とコミュニケーションをとり、雑談をしたり、バスケットボールの浸透度合いや日本に対する認識などに関するアンケートを行った。また、コロンビア大学で知り合った学生の紹介で、アイビー・リーグとして知られている、コロンビア大学VSプリンストン大学の女子バスケットボールの試合を見ることができた。
渡航により達成できたこと
大学内で会う、さまざまな人種・性別・言語の人たちに触れ合うことができた。 バスケットボールを通して、スポーツから言語を必要としないコミュニケーションをとることができた。 メトロポリタン美術館では、世界各国から集まった芸術品を鑑賞し、アメリカ自然史博物館では、広大なアメリカの自然についての理解を深め、自由の女神では、自由の女神の創設背景や、歴史を感じることもできた。

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

まず第一に当たり前だが、言語が違うことに対する驚きがすごかった。今まで海外に渡航した経験がなく、想像上では、お店に数人は日本語が通じる人だったり、タブレット等で注文したりすれば日本語が出てくるものだと思っていた。しかしそのようなことはなく、それに加え、今まで習ってきた教科としての英語のような表現も少なく、しかも共通テストのリスニングの二倍近い速さの英語が常に耳に入ってくることで聞き取ることに精一杯だった。日本でいう関西弁のような訛りも感じたし、言語の多様性についての理解も深まった。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

今回の渡航をでは、当初予定していた動作分析はできなかったが、バスケットや現地の人とのコミュニケーションを通してノンバーバル(非言語)コミュニケーションに興味を持ったため、今後はスポーツと絡めた研究も視野に入れていきたい。また、今回の渡航によってまた英語を学びたいという意欲にかられたので、生涯にわたって英語に触れていきたい。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

この13日は長いようで短い期間でした。最初は話しかけるのも嫌で時間がかかっていましたが、短期間の間に殻を破ることができ、良い経験になりました。この四年間という短い学生生活をみんなと同じように過ごすのもいいですが、この三重大学が与えてくれる貴重な機会を利用して人とは少し違う経験をするのも良いと感じました。決して楽なことではなかったですが、この苦労が将来につながるということを確認できるような素晴らしい経験でした。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	0円
海外旅行保険	16,840円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	0円
宿泊費(渡航費を含む)	293,525円
光熱費	0円
食費	78,000円
その他	70,000円
合計	458,365円